

手作り門松で新年迎える

竹を切り、わら束ね 島田・北中学生徒

島田市相賀の北中学校の全校生徒約百二十人が二十一日、校内で門松をつくり、新年を迎える準備を整えた。

伝統文化に関心を向けようとして三十年ほど前から続ける恒例行事で、地元住民が材料のわらや竹などを用意した。

門松は高さ五十〜六十センチほど。

生徒たちは、のこぎりで竹を切って束ね、わらで土台をつくると、ナンテンやキンカンを飾って彩りを加えていった。

二回目の門松づくりとなった三年森鴻興さんは「色もバランスも一番いいものができた。玄關に飾りたい」と話した。

(古池康司)



門松をつくる生徒たち＝島田市北中学校で